令和７年８月４日

# 情報提供

## 令和７年度 全国特別支援学校病弱教育校長会
## 第２回研究協議会　情報提供
### －ICT活用、自立活動を中心に－

独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所　　土屋忠之

令和７年全病連研究協議会

# 「教科・領域等の指導」大阪府立光陽支援学校

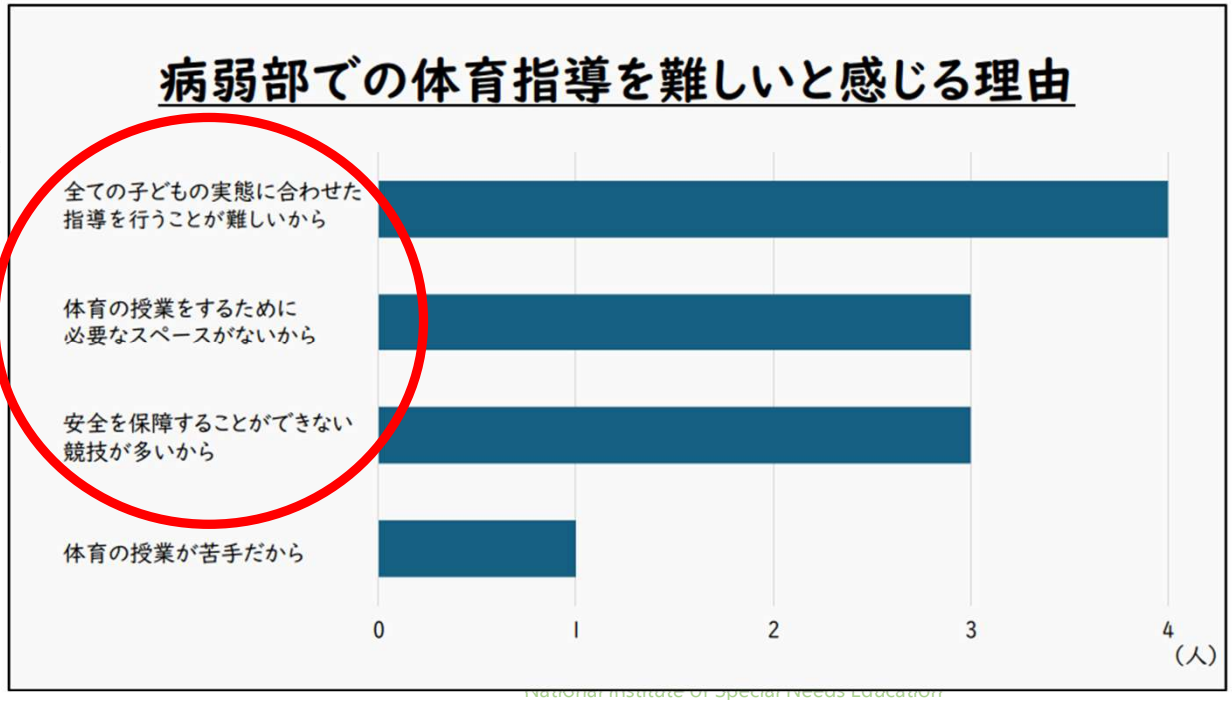
## 年齢・障がい問わず楽しめる　小学部での体育の指導について

### 病弱部での体育指導を難しいと思うか

難しいと思う
80％

難しいと思わな
20％

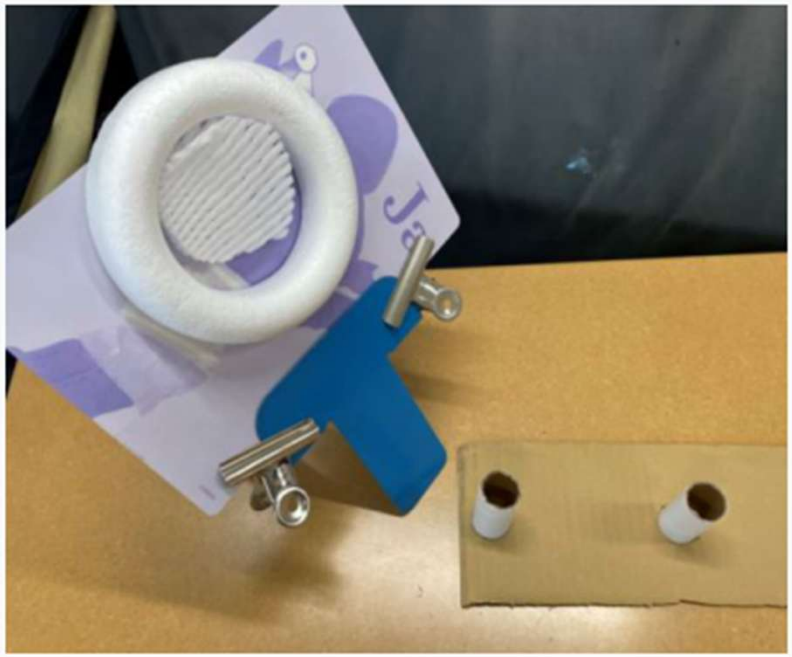
### 病弱部での体育指導を難しいと感じる理由




National Institute of Special Needs Education

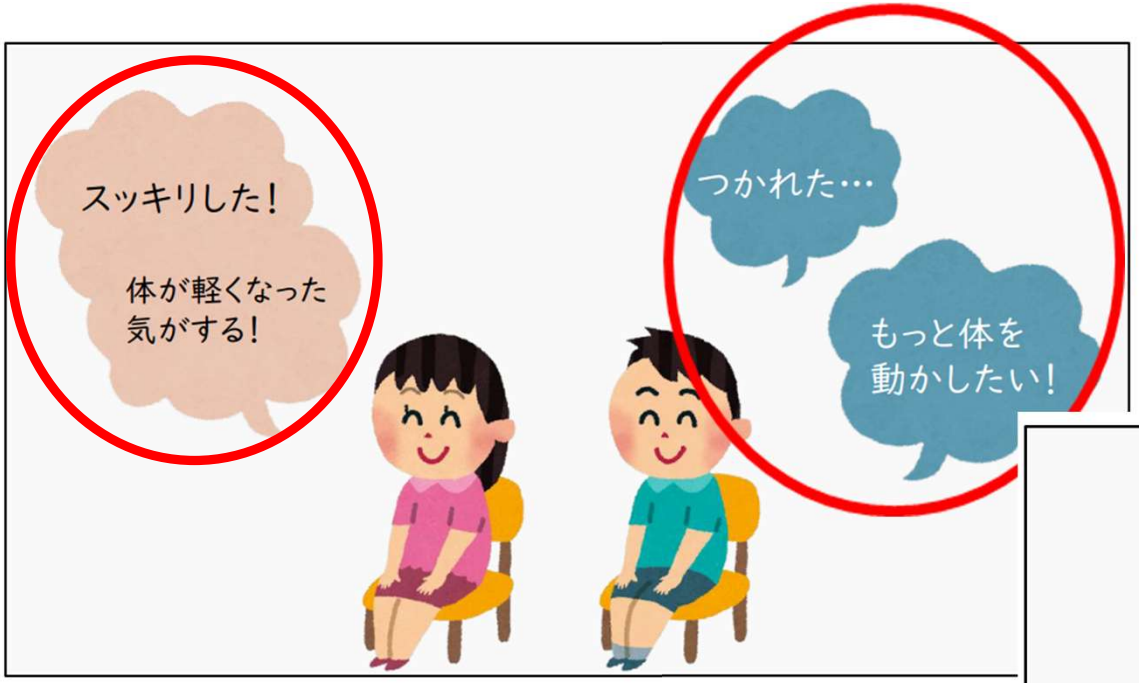
# 授業実践の工夫

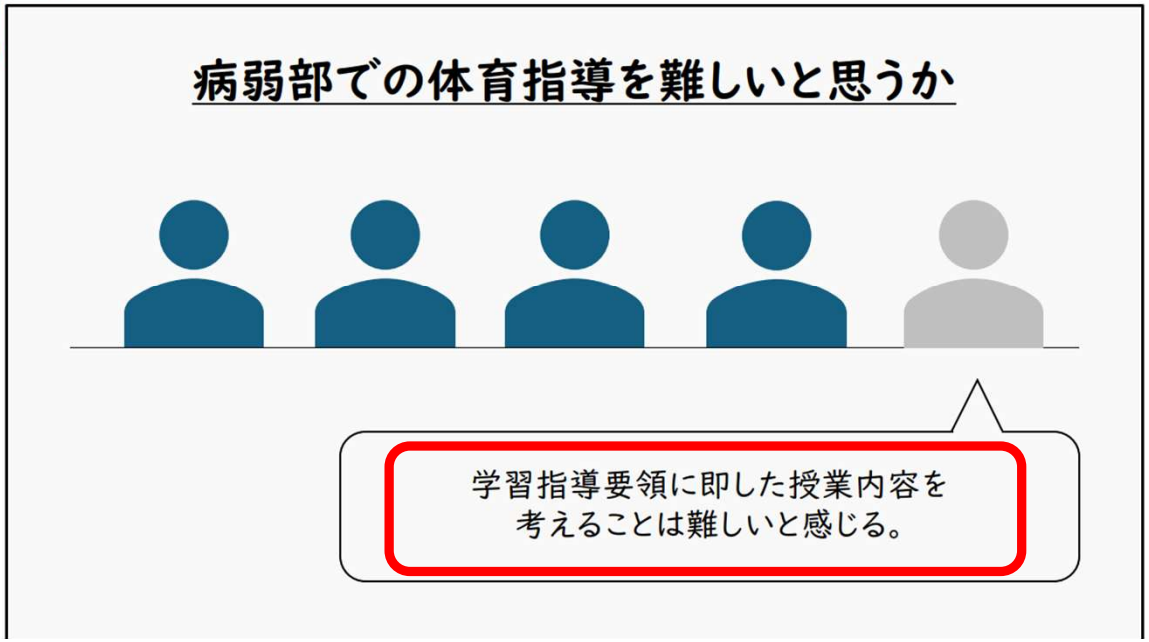
## 実践①
## わなげ



## 実践②
## 運動すごろく

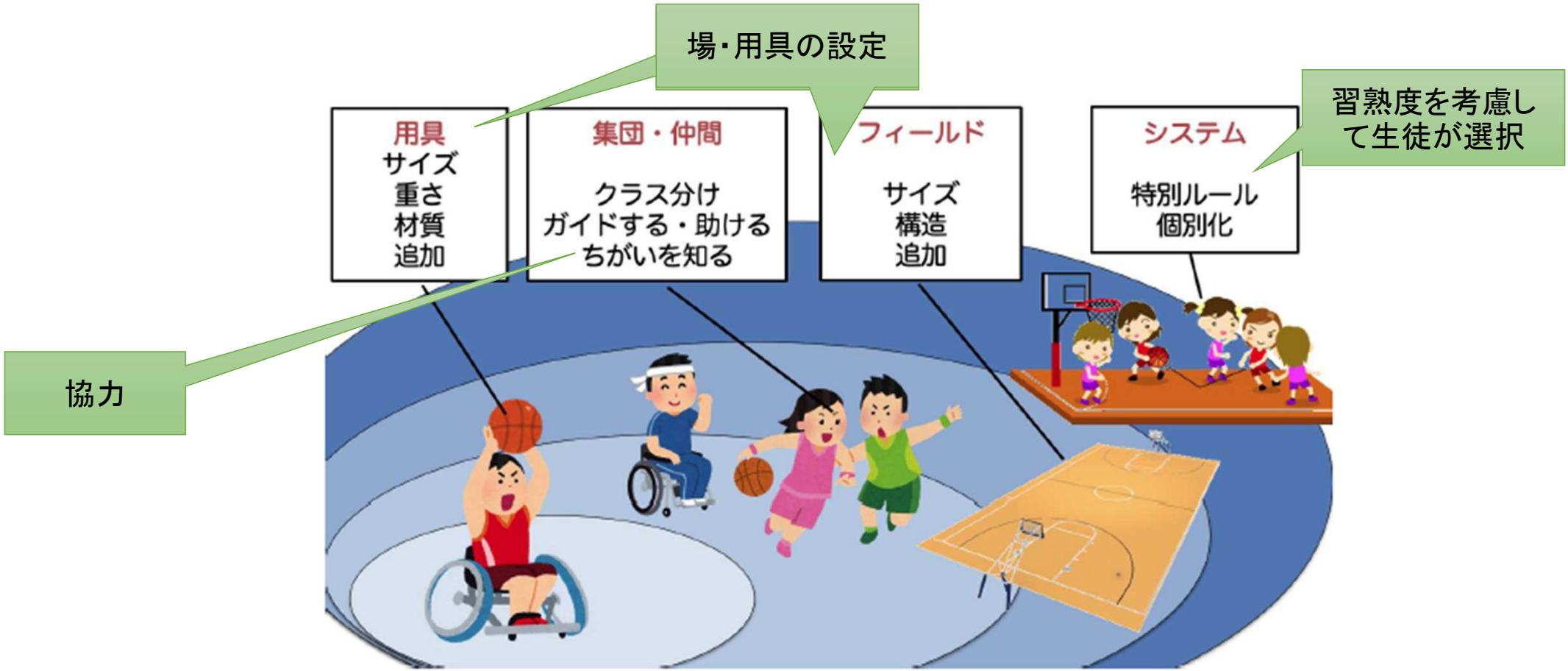
# 成果と課題


スッキリした！
体が軽くなった
気がする！
つかれた…
もっと体を
動かしたい！

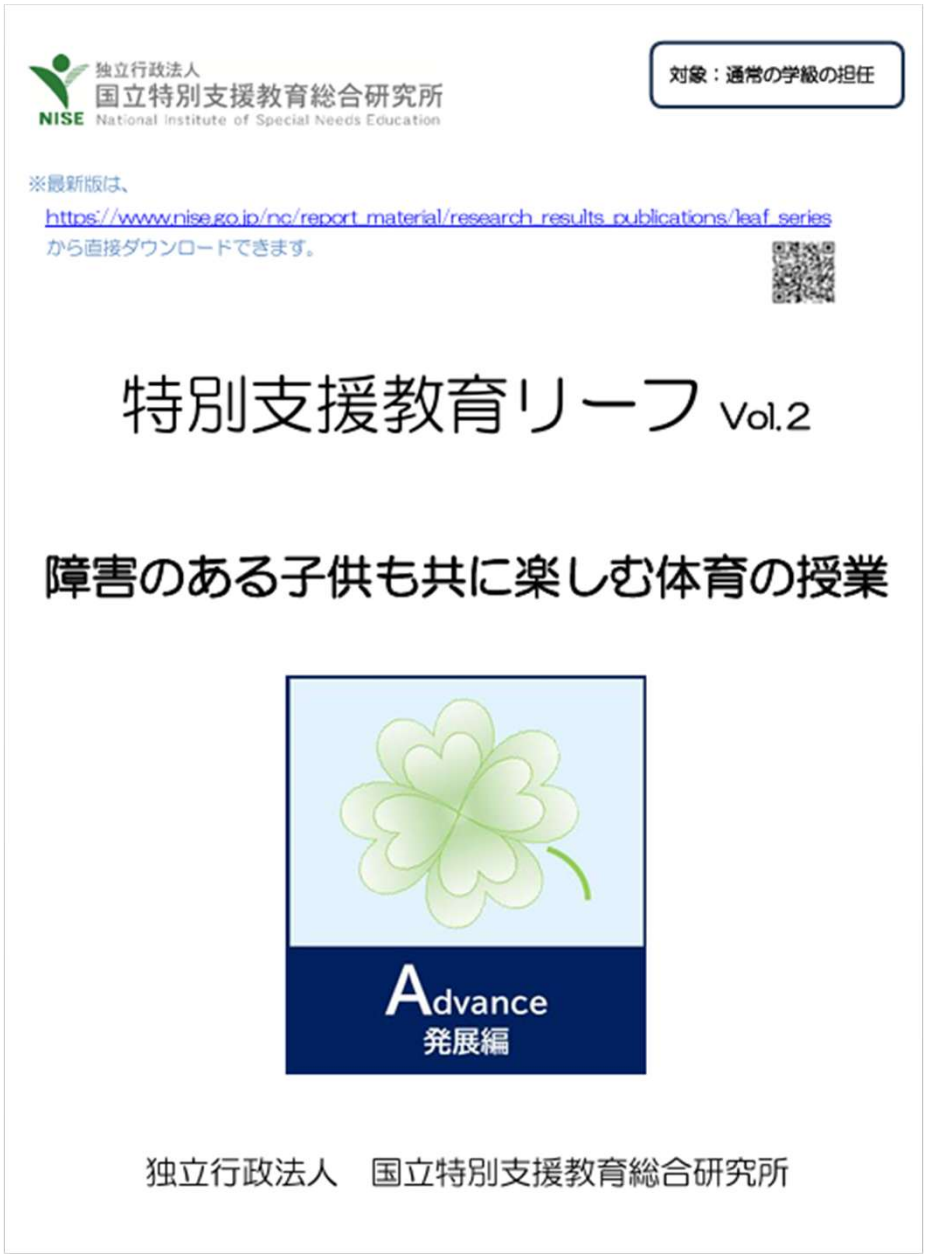

病弱部での体育指導を難しいと思うか
学習指導要領に即した授業内容を
考えることは難しいと感じる。

# アダプテッド・スポーツ

- 障害のある子供が主体的に体育の授業に参加できるようになるためには、ルール等を子供側に合わせる「アダプテッド・スポーツ」の視点が有効です。



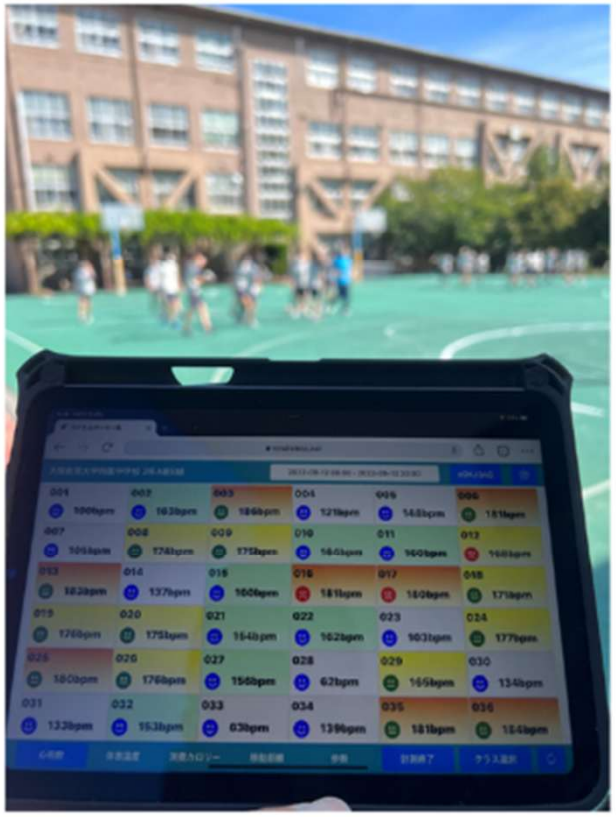
# 特別支援教育リーフ（特総研）




[特別支援教育リーフ - 独立行政法人　国立特別支援教育総合研究所]

https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/leaf_series

# 児童・生徒の体調の見える化で、学校育授業のICT化を実現 | イノベーション」



OKI Webサイトより[https://www.oki.com/jp/yume_pro/about/healthcare/pe.html](https://www.oki.com/jp/yume_pro/about/healthcare/pe.html)
（2025年8月5日参照）

OKI動画「体育授業での生徒一人一人の学びをサポートする体育ICTソリューション」
https://www.youtube.com/watch?v=HfziuNnEkvc（2025年8月5日参照）より

# 第３期スポーツ基本計画（概要）
## （令和４年３月：文部科学省スポーツ庁による資料）

### 『感動していただけるスポーツ界』の実現に向けた目標設定

全ての人が自発的にスポーツに取り組むことで自己実現を図り、スポーツの力で、前向きで活力ある社会と、絆の強い社会を目指す

**国民のスポーツ実施率を向上**
- ✓ 成人の**週１回以上のスポーツ実施率**を**７０%**（障害者は**４０%**）
- ✓ **１年に一度以上スポーツを実施**する成人の割合を**１００%に近づける**（障害者は**７０%を目指す**）

**生涯にわたって運動・スポーツを継続したい子供の増加**
（児童86%⇒**90%**、生徒82%⇒**90%**）

**子供の体力の向上**
（新体力テストの総合評価C以上の児童68%⇒**80%**、生徒75%⇒**85%**）

**誰もがスポーツに参画**でき、**共に活動できる**社会を実現
- ✓ 体育授業への**参加を希望する障害のある児童生徒の見学ゼロ**を目指した学習プログラム開発
- ✓ **スポーツ団体の女性理事**の割合を**40%**

オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会で、**過去最高水準の金メダル数、総メダル数、入賞者数、メダル獲得競技数等の実現**

スポーツを通じて**活力ある社会を実現**
- ✓ **スポーツ市場規模15兆円**の達成（2025年まで）
- ✓ **スポーツ・健康まちづくり**に取り組む**地方公共団体**の割合15.6%⇒**40%**

スポーツを通じて**世界とつながる**
- ✓ **ポストSFT事業**を通じて**世界中の国々の700万人**の人々への裨益を目標に事業を推進
- ✓ **国際競技連盟（IF）等役員数37人規模**の維持・拡大

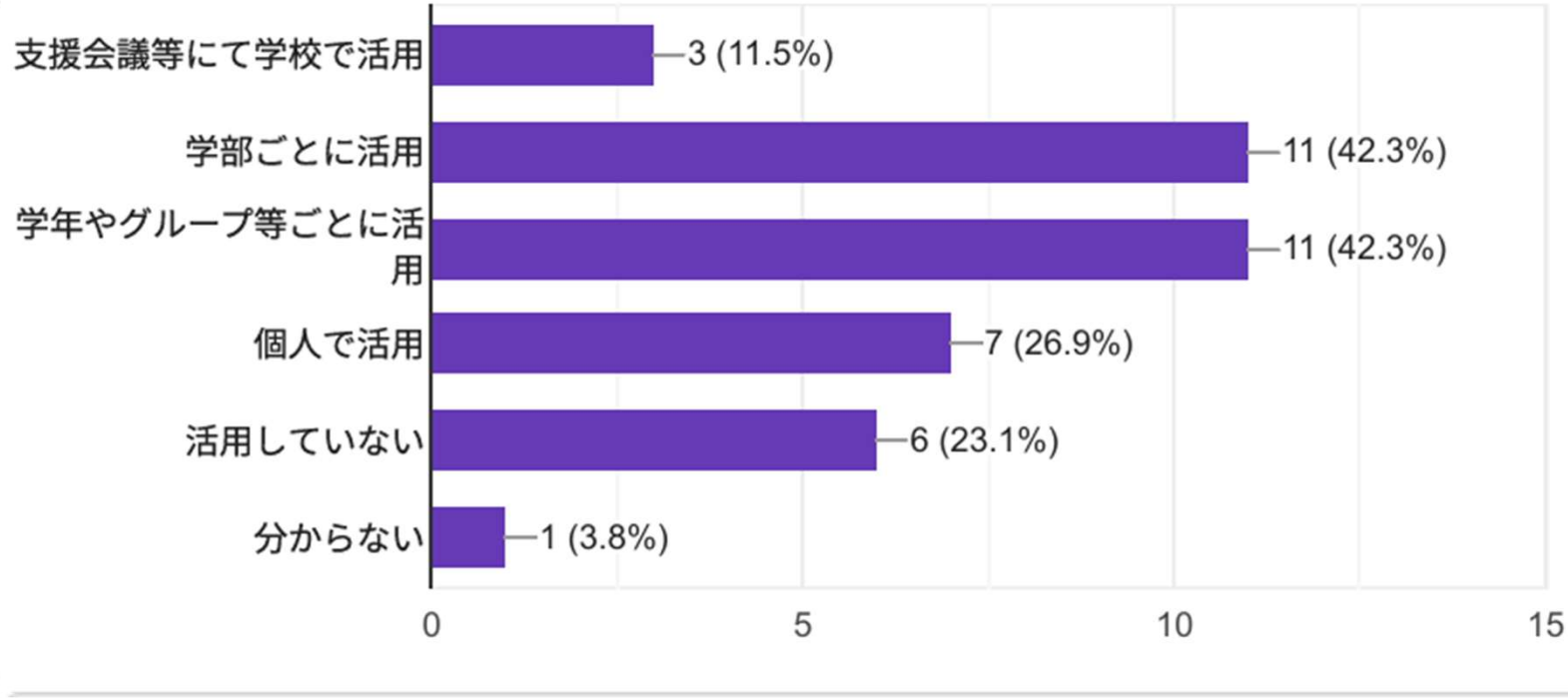
2

# 令和６年度　全病連心身症等教育研究委員会アンケート結果から
## ー自立活動「流れ図」についてー

２．学校では自立活動にて、「流れ図」を活用されていますか。当てはまるものを選んでください。（複数回答可）

コピー

26 件の回答





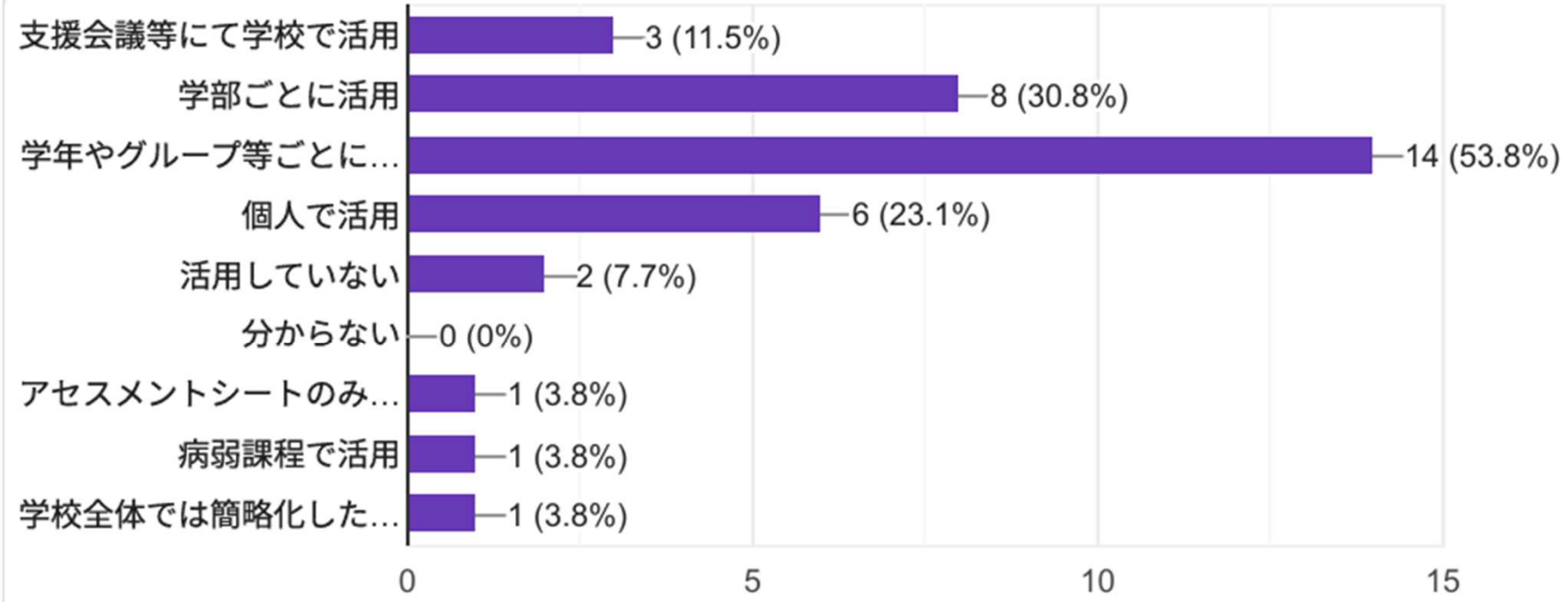

National Institute of Special Needs Education

# 令和６年度　全病連心身症等教育研究委員会アンケート結果から
## ーCo-MaMeについてー

１．学校ではCo-MaMeを活用されていますか。当てはまるものを選んでください。（複数回答可）

コピー

26 件の回答

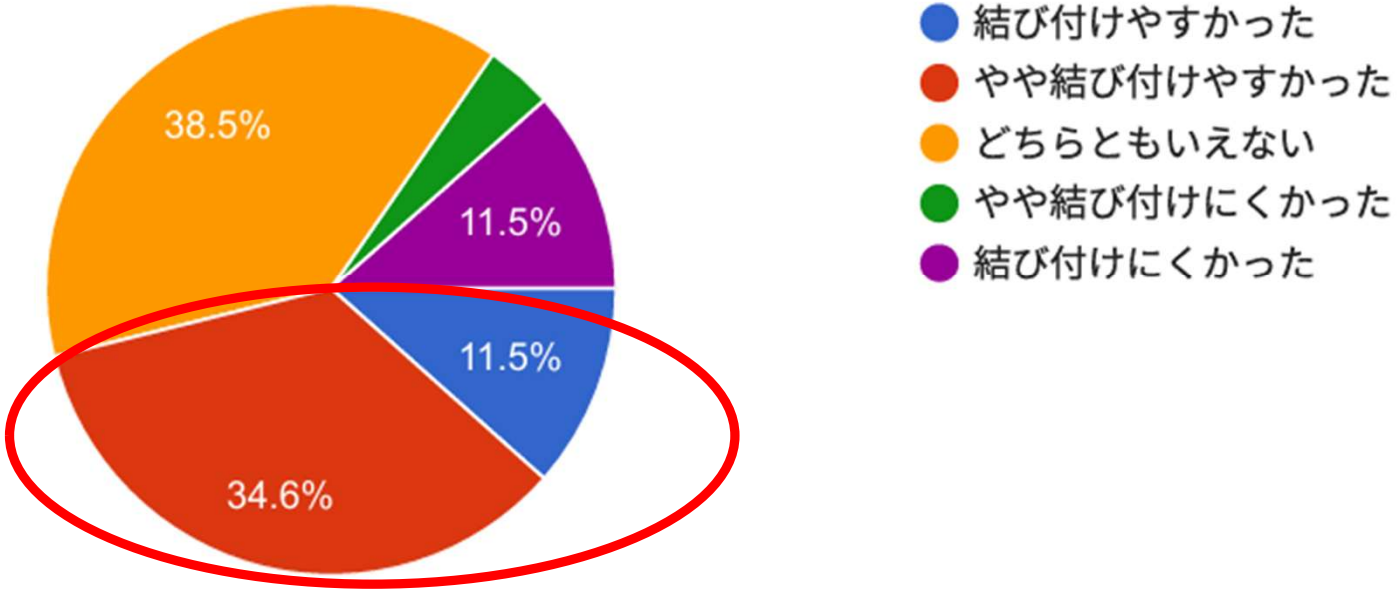


# 令和６年度　全病連心身症等教育研究委員会アンケート結果から
## ー自立活動とCo-MaMeについてー

４）Co-MaMeのカテゴリーと自立活動の区分を線で結びやすかったですか。当てはまるものを一つを選んでください。

コピー

26 件の回答

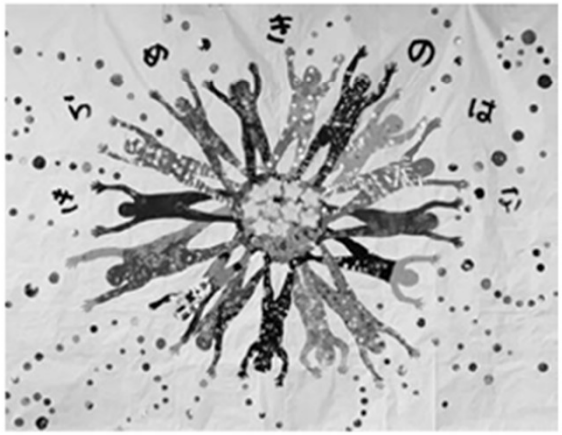


# 全病連心身症等教育研究委員会事例集

令和４年度・令和５年度

精神疾患等のこころの病気のある
児童生徒の指導と支援の事例集Ⅶ

―「Co-MaMe」を活用した教育支援―



全国病弱虚弱教育研究連盟
心身症等教育研究委員会

[全病連ホームページ - 心身症等]

https://sites.google.com/view/zenbyouren/home/%E5%BF%83%E8%BA%AB%E7%97%87%E7%AD%89



National Institute of Special Needs Education

# 全病連心身症等教育研究委員会事例集

## 自立活動　事例シート

| | | | |
|---|---|---|---|
| (小)・中・高 | 1・(2)・3・4・5・6 年 | 障害名（病名）<br>（精神疾患・心身症等の障害名（病名）） | 先天性心疾患 |
| 教育課程 | (準ずる教育課程)・準ずる教育内容（下学年適用）・知的障がいの教育課程（知的代替）・自立活動を主とする教育課程 | | |

**＊①～⑥はシート「２整理・変容シート」の項目**

1)実態把握

**収集した情報**

就学前から大人の中で育っており、同年代との関わりが極めて少ない。また、医ケアをしてもらって当たり前の環境でずっと過ごしている。小学校に入学し、ほぼ初めて同年代の子どもと一緒に過ごすようになり、それをとても楽しみにしている。一方で、今年度から複式学年での学習が始まり、初めて異学年（年下）の子と長時間過ごすようになり、ちょっとしたトラブルにつながる場面も増えている。学習面では様々な場面で不器用さが感じられ、同級生との差を本人も感じ始めている。

| Co-MaMeの情報（参考①） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | A２　感情のコントロール（気持ちを抑えられない、すぐに怒ってしまう） | 受容期 | | | | |
| | A８　気分の変動（気分の浮き沈みがある） | 受容期 | | | | |
| | C２　処理能力（書きながら聞くなど、２つの作業を同時に行えない） | 受容期 | | | | |

**収集した情報の整理**

| 自立活動の区分に即して整理 | A 心理 | B 社会性 | C 学習 | D 身体 | E 学校生活 | F 自己管理 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 自立活動の領域・項目 | ①健康の保持 | ②心理的な安定 | ③人間関係の形成 | ④環境の把握 | ⑤身体の動き | ⑥コミュニケーション |
| | (1) (2) (3) (4) (5) | (1) (2) (3) | (1) (2) (3) (4) | (1) (2) (3) (4) (5) | (1) (2) (3) (4) (5) | (1) (2) (3) (4) (5) |

＜自立活動の項目・領域＞①（1）情緒の安定②（2）他者の意図や感情の理解(4)集団参加の基礎　⑥(2)言語の受容と表出(5)状況に応じたコミュニケーション

・感情の起伏によって、活動に取り組めるかどうかが決まっている。本人の気持ちが落ち着かないと、他者への言動が激しくなりトラブルにつながりやすい。

・他者と接するスキルが未熟。体験や知識の不足、理解不足の両面からくる部分も大きい。それが、周囲から見るとマイルールで行動しているように見えている。

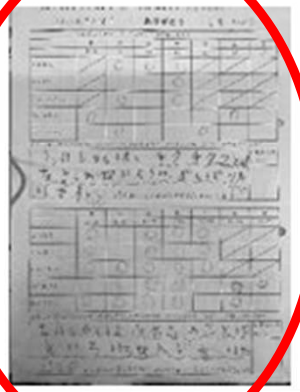
# 全病連心身症等教育研究委員会事例集

4)具体的な指導内容の選定

| 必要な自立活動の項目の選定 | 健康の保持 | 心理的な安定 | 人間関係の形成 | 環境の把握 | 身体の動き | コミュニケーション |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | (1) (2) (3) (4) (5) | (1) (2) (3) | (1) (2) (3) (4) | (1) (2) (3) (4) (5) | (1) (2) (3) (4) (5) | (1) (2) (3) (4) (5) |

**具体的な指導内容（参考④）**

①言葉遣いに気をつける
・「ふわふわ言葉」「チクチク言葉」を具体的に考える。（1学期）
・「チクチク言葉」が出そうになった時、どのような表現に言いかえたらよいか考える。『へんしん言葉』（2学期）
・誰に「ふわふわ言葉」を言っているか、誰に伝えたいかを考える。
・「ふわふわ言葉」のうち１つの言葉をターゲットに、１週間毎日言えていたかを振り返る。
・週末に振り返りカードを家に持ち帰り、おうちの方にも見ていただく。



【Co-MaMeの教育的ニーズの項目、支援の時期】
A2　感情のコントロール（受容期）

②自分のことは自分でやる
・自分のものや自分で使うものは、自分で準備や片づけをする。（彼女だけの取り組みではなく学級全体のルールとして定着させていく）
・給食時の役割分担を明確にし、お互いに干渉しあわないような場面設定をする。
小１→温めたお弁当を生活科室から自分で運ぶ
小２→自分のランチョンマットを容器に入れる
・自分でできたことを賞賛し、強化する。

【Co-MaMeの教育的ニーズの項目、支援の時期】
A8　気分の変動（受容期）

③集中して学習や仕事をする
・一緒の場で活動する他者の言動によって気持ちが揺れないように場を分けたり、それぞれの役割を明確に視覚的に確認できるようにする。
・学習・・・パーテーションを使い、個別学習に取り組む
・清掃・・・日替わりで分担場所を決め、１つの場所を時間いっぱい行う（モップ→ぞうきん）
・②の取り組み同様、自分でできたことを賞賛する。他の人を気にせずできたねという声がけは避ける。

【Co-MaMeの教育的ニーズの項目、支援の時期】
C2　処理能力（受容期）

# ご清聴いただき、ありがとうございました